

斜面崩壊の調査報告（１）

調査日：2007年7月17日（7時20分大学出発、17時帰着）

調査者：渡部直喜（災害復興科学センター）

調査範囲：柏崎市椎谷地区、同市宮川地区、同市青海川地区、同市笠島地区、同市花田地区、刈羽村西元寺地区、同村赤田北方地区

調査結果：今回の調査範囲に限ると、2004年新潟県中越地震で発生した斜面崩壊・地すべりと比較して、斜面崩壊の数は非常に少ない。また、大規模な斜面崩壊も発生していない。斜面崩壊のほとんどは、急斜面表層の表土や風化層の崩落である。斜面崩壊による被害は、幹線道路が土砂崩れにより通行止めとなっているいくつかの事例、ＪＲ青海川駅近くの斜面崩壊によって土砂が線路を埋積している事例がある。これらを除くと、インフラを直撃した斜面崩壊も非常に少ない。斜面の変状はいくつか確認された。宅地の背後の崖の頂部では、亀裂が確認できる場所もある。このような斜面頂部の亀裂は各地で相当数存在すると推定できる。斜面の孕み出しが認められる場合はさらに注意が必要である。亀裂を確認した場合、当面は雨に対する十分な警戒が必要である。雨水の浸透を防ぐため、ビニールシートで覆う応急処置をしておくといよい。



写真－１ 斜面崩壊遠望（柏崎市椎谷・観音崎）



写真－２ 国道３５２号線の崩壊土砂（柏崎市椎谷・観音崎）



写真－３ 国道３５２号線の崩壊土砂（柏崎市椎谷・観音崎）



写真－４ 斜面崩壊の上方の様子（柏崎市椎谷・観音崎）



写真－５ 柏崎市椎谷地内の斜面崩壊



写真－６ 宮川神社裏手の斜面崩壊（柏崎市宮川地内）



写真－７ 民家裏手の斜面崩壊（柏崎市花田地内）



写真－８ 民家裏手の斜面崩壊（刈羽村西元寺地内）



写真－９ 宅地造成盛土斜面の孕み出し（刈羽村赤田北方地内）



写真－１０ 民家裏手の斜面頂部の亀裂（刈羽村赤田北方地内）



写真－１１ 崩壊土砂による線路の埋積（ＪＲ青海駅近く。柏崎市青海川）



写真－１２ ＪＲ青海駅近くの斜面崩壊（柏崎市青海川）



写真－１３ 急崖の表層崩壊（柏崎市青海川地内）



写真－１４ 柏崎市笠島地内で発生した斜面崩壊